

# 平成 29 年度事業報告

(平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで)

## 1. はじめに

平成 29 年度は、協会の公益法人としての役割を明確にし、愛する郷土みやぎの芸術文化の興隆の精神を体現する事業を展開した。54 回目の開催の宮城県芸術祭では、本協会初の試みとなる統一テーマ「結い」を設定し、芸術の魅力を県民に幅広くアピールした。また、共通テーマ設定の意図をより明確にするために芸術祭開催日に合わせて「オープニングイベント」を開催し、本協会の特徴を生かした 5 部門のコラボレーションからなるユニークな企画で多くの来場者を魅了した。各部門においては、設定された「結い」を念頭に新たな取り組みや企画もみられ、さらには、文芸祭や各部による公募展あるいは華道部の体験コーナーなど、鑑賞型活動から参加型活動への質的転換を生み出す事業を積極的に展開した。

なお、38 回を数える芸術協会ピアノコンクールに新たにヴァイオリン部門を加えて例年になく多数の応募者を迎え、質の高い音楽コンクールとなった。

芸術祭以外の事業では、8,878 人の来場者となった「杜の都大茶会」や 21 回目を迎えた仙台・大邱国際交流事業が大邱芸術文化会館で盛大に開催されるなど、さらには、地元芸術団体等と本協会会員が一体となって実施し、好評を博した「みやぎミュージックフェスタ 2017 in とみや」など、地域に根差した芸術文化の振興を図る活動を着実に積み重ねた一年となった。

また、事業運営と並行しながら、共通テーマや各部事業の点検等を議題として、3 回の部長会議を開催した。

## 2. 会員状況

正会員及び名誉会員の総数は、前年度末 2,041 名から当年度末 2,022 名で、19 名の減少となった(新入会員 99 名・退会会員 118 名)。また、賛助会員の個人・団体の合計数は前年度末 94 から当年度末 97 件と前年比 3 件の増加。過去 3 年分も併せた各内訳及び推移は下表のとおりである。

部 門	H26	H27	H28	H29			
				正会員	名誉会員	計	前年比増減
絵画部 (日本画)	92	89	90	90	1	91	1
絵画部 (洋画)	303	305	319	330	3	333	14
彫刻部	34	36	39	38	1	39	0
工芸部	95	96	95	86	—	86	▲9
書道部	442	431	428	414	2	416	▲12
華道部	172	172	170	158	—	158	▲12
邦楽部 (三曲)	29	29	27	35	—	35	8
邦楽部 (長唄)	46	45	39	36	—	36	▲3
洋楽部	109	112	118	126	—	126	8
演劇部	1	1	1	1	—	1	0
文芸部	304	288	273	251	2	253	▲20
舞踊部	4	4	4	10	—	10	6
茶道部	330	326	315	316	—	316	1
写真部	118	120	123	121	1	122	▲1
計	2,079	2,054	2,041	2,012	10	2,022	▲19
賛助会員	22	21	94	—	—	97	3
合 計	2,101	2,075	2,135	—	—	2,119	▲16

### 3. 会議に関する事項

定時総会、理事会及び監事会を次のとおり実施した。

#### (1) 定時総会

会議名	期日	会場	審議事項
定時総会	6月3日	仙台市福祉プラザ ふれあいホール	第1号議案 平成28年度事業報告及び収支決算の承認について

#### (2) 理事会

会議名	期日	会場	審議事項
第1回理事会	4月21日	芸術協会 会議室	第1号議案 平成28年度事業報告及び収支決算の承認について 第2号議案 平成29年度定時総会の開催について 第3号議案 新入会員(正会員)の承認について
第2回理事会	8月4日	芸術協会 会議室	第1号議案 新入会員(正会員)の承認について 第2号議案 賛助会員の推薦について
第3回理事会	12月8日	芸術協会 会議室	第1号議案 平成30年度事業計画及び予算編成の方針について 第2号議案 新入会員(正会員)の承認について 第3号議案 理事候補者数の配分について
第4回理事会	3月16日	芸術協会 会議室	第1号議案 平成30年度事業計画(案)及び収支予算(案)について 第2号議案 正会員の入会承認について 第3号議案 名誉会員の推薦について

※第2回・第4回理事会では、定款第24条第4項に基づき、理事長及び執行理事の職務執行状況の報告が行われた。

#### (3) 監事会

会議名	期日	会場	審議事項
監事会	4月19日	芸術協会 会議室	平成28年度事業報告及び決算の監査について

### 4. 事業について

#### (1) 宮城県芸術祭の開催【公益目的事業1】

定款第4条(1)に規定する第54回目の開催となる宮城県芸術祭を、宮城県、仙台市、河北新報社、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、公益財団法人宮城県文化振興財団との7団体共催により開催した。

本年度から芸術祭には共通テーマを設定することとし、本年度のテーマは「結い」とした。

9月22日(金)に開会式(会場:せんだいメディアテーク・参加者80名)を行い、9月23日(土)には書道部・華道部・洋楽部・邦楽部(三曲)・舞踊部(日舞)による「結い」をテーマとするオープニングイベント(会場:せんだいメディアテーク・来場者650名)を開催。11月14日(火)には表彰式(会場:ホテルメトロポリタン仙台・参加者269名)を行った。開催期間内における各事業の概要は次のとおり。

①展示関係事業

せんだいメディアテークを会場とし、会員の作品展を次のとおり開催した。

事業名	期間	会場	入場者数	作品点数
華道展	9/22～27	せんだいメディアテーク 5F	2,716 名	前期 37 点・後期 37 点
書道展	9/22～27	せんだいメディアテーク 5・6F	4,345 名	285 点
工芸展	9/29～10/4	せんだいメディアテーク 5F	2,457 名	68 点
写真展	9/29～10/4	せんだいメディアテーク 5F	2,994 名	93 点
彫刻展	9/29～10/4	せんだいメディアテーク 6F	2,198 名	24 点
絵画展	10/6～11	せんだいメディアテーク 5・6F	9,578 名	日本画 45 点・洋画 192 点・役員等 81 点

※会期内各展の催し等を次のとおりに実施した。

- ◎華道展:チャレンジ席を設けて会員以外の作品(前期・後期ともに7点ずつ)を展示。また、会期内中に「いけばなデモンストレーション 2017」を5流派が(23日を除く)日替わりで担当し、実施した。
- ◎書道展:受賞者による揮毫会を9月24日(会場:メディアテーク6階ホワイトエ・来場者156名)に実施した。
- ◎写真展:企画展示として①写真部企画展『渾身の一枚』(写真部創設期会員の3名の作品を「渾身の一枚」として展示)、②(みやぎ総文 2017 コラボレーション企画)新進気鋭の若手作家の紹介(第41回全国高等学校文化祭「みやぎ総文 2017」写真部門に参加した高校生の作品をモニターで紹介)の2つを実施した。
- ◎写真展(9/29～10/4)、工芸展(9/30)、彫刻展(9/30)においてそれぞれギャラリートークを実施した。

②演奏関係事業

洋楽部、邦楽部(長唄部門)において次のとおり演奏会を開催した。

事業名	期日	会場	入場者数	出演者数
長唄演奏会	10/15	トークネットホール仙台	198 名	26 名
音楽会	10/31	日立システムズホール仙台	582 名	会員 29 名・外部出演 5 名

③文芸関係事業

文芸部において各事業を次のとおり実施した。

文芸祭では文芸賞受賞者による作品の感懐と朗読、公募の入選発表と表彰を行った。

事業名	期日	会場	入場者数	備考
文学散歩	10/4～5	岩手県北上・盛岡・奥州市	—	参加者 31 名
「宮城県文芸年鑑」発行	10/15	—	—	750 部発行
文芸祭	10/22	東京エレクトロンホール宮城	137 名	—

※文芸祭 文芸作品公募応募作品数 ( )=は応募人数

	詩	短歌	俳句	川柳	エッセー	合計
高校生・一般	13(13)	102(51)	146(61)	64(29)	7(7)	332(161)
ジュニア	42(42)	214(164)	99(61)	16(8)	—	371(275)

④茶会

茶道部において茶会を次のとおり開催した。

事業名	期日	会場	入場者数	備考
茶会	10/8・15・22	輪王寺	3,719名	13流派参加

⑤人材育成事業

県民の幅広い参加の促進と、各部の裾野の拡大や後継者の育成を目的に人材育成事業を次のとおり実施した。

a. 公募展の開催

写真部、絵画部、彫刻部において一般公募の作品展を次のとおり開催した。

事業名	期間	会場	入場者数	作品点数
写真公募展	9/29～10/4	せんだいメディアテーク 5F	2,994名	入選 97点(応募 364点)
絵画展(公募の部)	9/29～10/4	せんだいメディアテーク 6F	2,198名	109点
彫刻公募展	9/29～10/4	せんだいメディアテーク 6F	2,198名	入選 3点(応募 4点)

b. 音楽コンクールの実施

前年度開催のコンクールの受賞者への特典及び、過去の受賞者を招待出演者(菅原 望氏)とするガラコンサートと、本年度からヴァイオリン部門を新設した音楽コンクールを次のとおり実施した。

事業名	期日	会場	参加者	入場者数
受賞者によるガラコンサート	9/17	日立システムズホール仙台	受賞者 10名・招待 1名	364名
第 38 回音楽コンクール	予選	2/18	日立システムズホール仙台 ピアノ部門予選出場:138名 初級A:16名、初級B:24名 中級A:33名、中級B:38名 上級A:15名、上級B:12名 ヴァイオリン部門予選出場:44名 初級:15名 中級:19名 上級:10名	567名
	本選	3/18	日立システムズホール仙台 ピアノ部門本選出場:58名 初級A:9名、初級B:9名 中級A:14名、中級B:15名 上級A:6名、上級B:5名 ヴァイオリン部門本選出場:52名 初級:11名 中級:14名 上級:6名 ※以下、本選のみのクラス きらきら星コンクール:17名 ツイゴイネルワイゼンコンクール 4名	626名

c. 各種セミナーの実施

写真部において、一般県民を対象としたセミナーを次のとおり開催した。

事業名	期日	会場	参加者	備考
第1回写真セミナー	7/14	せんだいメディアテーク 7F	15名	講師:佐々木 光一 会員
第2回写真セミナー	8/11	せんだいメディアテーク 7F	5名	講師:加藤 友一 会員
第3回写真セミナー	9/15	せんだいメディアテーク 7F	15名	講師:笹川 義信 会員
第4回写真セミナー	10/20	せんだいメディアテーク 7F	14名	講師:吾妻 克美 会員
第5回写真セミナー	11/10	せんだいメディアテーク 7F	7名	講師:落合 英俊 会員

※これまで報告した事業に加え、(公社)日本舞踊協会宮城県支部第32回各流舞踊公演(10月1日、会場:電力ホール、来場者1,142名)、第61回仙台三曲協会定期演奏会(11月5日、会場:トークネットホール仙台、来場者420名)、第48回洋舞公演(11月9日、会場:東京エレクトロンホール宮城、来場者850名)を芸術祭参加行事とした。

**(2) 芸術文化の振興に関する展覧会、講演会、研究会、発表会などの主催又は後援【公益目的事業2】**

定款第4条(2)に規定する本協会の主催及び後援の展覧会等の各事業を次のとおり開催した。

①鑑賞機会提供事業

多くの県民に本協会の会員による芸術作品や音楽会などを鑑賞する機会を提供することを目的とする事業を次のとおり開催した。

事業名	期間	会場	入場者数	作品点数等
第54回宮城県芸術祭 絵画展受賞者作品展 [共催:公益財団法人宮城県文化振興財団]	12/15~21	東京エレクトロンホール宮城	918名	会員の部 40点 公募の部 18点
宮城県芸術協会絵画部門 現運営委員等の「現在と過去」Ⅱ期 [共催:カメイ美術館]	1/30~3/11	カメイ美術館	1,705名	58点
みやぎミュージックフェスタ 2017 in とみや [共催:富谷市・富谷市教育委員会 公益財団法人宮城県文化振興財団 富谷市芸術協会]	2/25	富谷市成田公民館	432名	本協会出演等会員 15名

※「宮城県芸術協会絵画部門 現運営委員等の『現在と過去』Ⅱ期」では会期内イベントとして、作家による作品解説(2月17日・来場者134名)と、本協会洋楽部会員4名によるギャラリーコンサート(3月3日・来場者155名)を実施した。

②伝統文化体験事業

茶道の普及啓発を目的とし、河北新報社との共催による茶会を次のとおり開催した。

事業名	期日	会場	入場者数	備考
第21回杜の都大茶会	5/27・28	勾当台公園	8,878名	13流派参加

### ③人材育成事業

芸術文化に関する人材の育成と各分野の幅広い裾野拡大を目的とした各事業を次のとおり実施した。

事業名	期日	会場	参加者数	備考
県民との美術交流・ギャラリートーク	10/7	せんだいメディアテーク 5F・6F	91名	講師:倉本 信之 氏 高橋 誠 氏
第4回定禅寺フォトコンテスト [共催:公益財団法人宮城県文化振興財団]	12/5～12	東京エレクトロンホール宮城	419名	応募 112点 入賞 9点・入選 55点

事業名	期日	学校	対象学年	担当会員
書道部による県内小中学校への 講師派遣事業	11/27	大崎市立東大崎小学校	3～6年	中塚 仁
	11/29	仙台市立連坊小路小学校	3年	小日向 慶可
	11/30	仙台市立泉松陵小学校	1～2年	中塚 仁
	12/1	仙台市立人來田中学校	1～3年	関 雀鈴
	12/4	仙台市立南中山小学校	6年	阿部 緑泉
	12/12	石巻市立広渕小学校	3年	天野 白扇
	12/12	塩竈市立第二中学校	1年	建部 恭子
	12/13	仙台市立幸町小学校	4年	後藤 大峰
	12/13	大崎市立田尻小学校	3～6年	千葉 華紅
	12/15	塩竈市立月見ヶ丘小学校	5～6年	池田 僊雲
	12/15	栗原市立瀬峰中学校	1～3年	後藤 法明
12/15	石巻市立和渕小学校	3～6年	米倉 馨香	

### ④後援事業

「河北美術展」・「河北書道展」・「河北工芸展」など、本協会に本年度申請された 85 件の作品展や演奏会に対し、後援名義の使用許可及び賞交付（賞状や賞品等）を行った。

#### （3）国内及び国外との芸術文化の交流【公益目的事業3】

定款第4条（3）に規定する国内及び国外との芸術文化の交流を目的とした各事業を次のとおり実施した。

#### ①東北・北海道芸術文化団体協議会交流事業

東北・北海道の各道県を代表する芸術総合文化団体との相互交流を図ることを目的とし、本協会を含め7団体で構成する東北・北海道芸術文化団体協議会主催の交流協議及び事業を次のとおり実施した。

事業名	期日	会場	備考
東北・北海道交流事業文化講演	6/6	ラ・プラス青い森	「日本の彫刻 - 近代から現在 -」 講師:塚本 悦雄 氏 (弘前大学教授)

※協議会事業1 『東北・北海道芸術文化団体協議会総会』開催 6月6日 於:ラ・プラス青い森

※協議会事業2 『機関紙「北斗」(42号)の発行』1月20日付発行

特集「各県・道のこれまでに傑出した文化人」本協会執筆担当:栗石 隆子 執行理事

## ②仙台・大邱国際芸術交流事業

韓国芸術文化団体総連合会大邱広域市連合会との国際芸術交流事業を、本年度、当協会は日舞・邦楽（三曲）、大邱側は国楽を中心とした舞台公演を実施した。

事業名	期間	会場	入場者数	備考
2017 宮城県—大邱 国際芸術交流演奏会	9/5	大邱文化芸術会館	350 名	当協会訪問団(役員及び出演者) 15 名(訪問日程:9/4～9/7)

### （４）会員の資質向上のための研修会等の実施及び調査研究並びに出版物の刊行など【他事業】

定款第 4 条（４）会員の資質向上のための研修会等の実施及び調査研究並びに出版物の刊行、  
（５）その他この法人の目的を達成するために必要な事業、に関する事業を次のとおり実施した。

①主に本協会会員の研修の機会とし、資質の向上と創作・発表活動の活性化に資することを目的としながら、多くの県民にも参加の機会を提供する事業として、各研修事業を次のとおり実施した。

事業名	期間	会場	参加者数	備考
絵画部スケッチ研修会	5/20～21	山形県酒田市	32 名	
講演会	6/3	仙台市福祉プラザ	132 名	「文化人としての伊達政宗 —記録で辿る人間政宗—」 講師:伊達 宗弘 氏
書道部研修会	9/24	せんだいメディアテーク	113 名	講演会「近現代の書」 講師:高橋 利郎 氏
第 44 回研修旅行	11/7～、9	石川県金沢市	11 名	

②本協会の活動状況等の発信及び会員同士の情報交換を図るため、機関紙「はなやま」を次のとおり発行した。

事業名	発行号数	発行日	発行部数	内容
機関紙「はなやま」発行	212 号	5/8	2,550 部	総会告知、新入会員一覧、平成 29 年度事業計画・予算書、各事業案内・報告等
	213 号	7/31		総会報告、記念講演概要、元理事長 2 名訃報、平成 28 年度決算報告・収支決算、各事業案内・報告等
	214 号	10/27		第 54 回宮城県芸術祭報告、芸術祭受賞者一覧、平成 28 年度芸術選奨受賞会員報告、各事業報告等
	215 号	1/31		理事長年頭挨拶、各顕彰報告、新春随想、各事業報告・案内等